

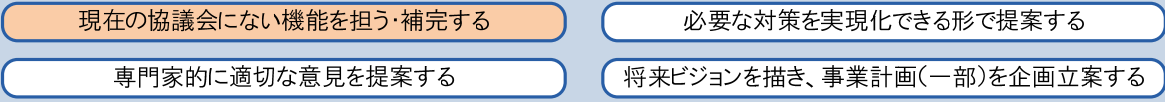
# 利尻山登山道等維持管理連絡協議会との連携強化について

## 新たな協議会事務局に望まれる機能

### 利尻山の自然環境保全と登山利用に関するシンクタンク

<新たな事務局体制の目的・役割>

- 山の環境保全のために地元ができることを企画立案し、利尻山本来のあるべき姿を将来にわたって指し示す



<主要メンバーの人材>

- 現場(登山道の現状・利用状況等)を知っている人
- 山の状況に関心のある人
- 機動力のある人
- 地元以外の人・専門家等は、調査や勉強会、ゲスト参加などの機会を通じて

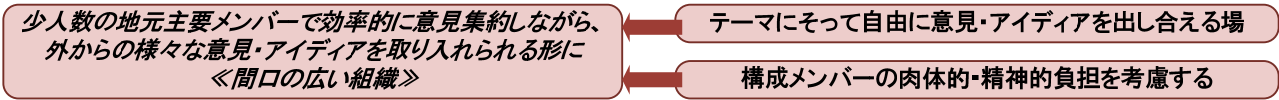
<機能>

- 対策の企画立案
- 対策実施に向けた調整
- 実施した対策の検証
- 現状把握・情報収集
- 山の自然環境・事業の記録とその公開・発信

<活動>

- 定例会・勉強会(集まりやすい日時で)
- 日常的な情報収集、情報交換、提案・協議
- 対策実施後の点検・検証
- 年報の編集・出版(最低限の体裁で)

<事務局に求められる体制>



## 協議会事務局体制強化 <協議会事務局拡充案>

### ○協議会との連携強化のための新たな体制

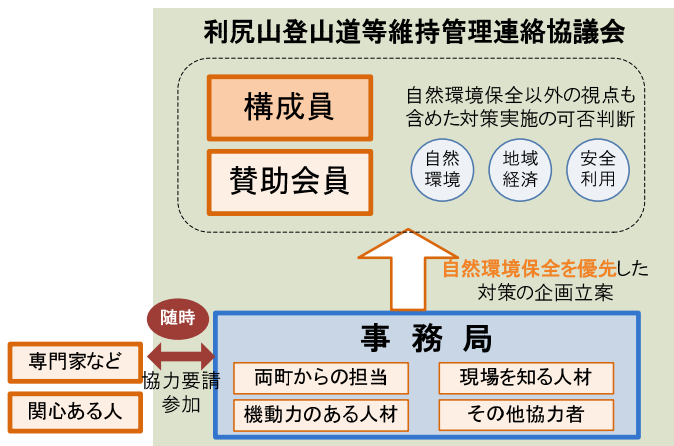
利尻山登山道維持管理連絡協議会が利尻山で必要とされる対策を効果的に講じていくために、事務局に対策の企画立案に必要な人員を拡充することが望ましい。

### ○協議会事務局に加えるのが望ましい人材

- 現場を知るガイドや宿泊業
- 機動力のある人材
- その他、協議会事務局が必要とする協力者

### ○随時事務局が協力要請

- 専門家
- 島内外の関係機関・協力者(講じる対策によって変化)



## ○新しい事務局体制づくりにおける課題

### ● 活動の継続性

- 事務局メンバーの最適人数
- メンバーの負担の軽減・分散（役割分担）
- 効率的なメンバー間の連携、情報交換を図るための手段が必要
- 活動予算の確保

### ● シンクタンクとしての役割を果たすために

- メンバーに必要な人材の確保
- 専門家、関係機関・島内外の協力者とのネットワークづくり
- メンバー以外の意見、アイデアの取り入れ方

協議会への事務局拡充案の提案に向けて